

### 3.4 洪水、地震・津波等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

#### 3.4.1 洪水対策

本計画における災害の発生の防止又は軽減に関する目標は、大淀川下流については昭和57年8月洪水と同規模の流量である $8,100\text{m}^3/\text{s}$ (柏田地点)とし、既設の綾北、綾南、岩瀬ダムにより $900\text{m}^3/\text{s}$ を洪水調節し、河道の整備目標流量を $7,200\text{m}^3/\text{s}$ とします。また、大淀川上流については、平成9年9月洪水時のピーク流量である $800\text{m}^3/\text{s}$ (岳下地点)を整備計画の目標流量とします。

大臣管理区間の支川深年川・高崎川等については、本川の整備水準規模の治水安全度とします。宮崎県知事管理区間の支川小松川等については、県内指標による整備水準規模の治水安全度を確保することとします。(表3.4.1, 図3.4.1)

さらに、既設の堤防については、洪水に対する所要の安全性を確保することとします。

なお、内水被害が発生する区域においては、土地利用状況、内水被害状況を踏まえ被害の軽減を図るべく内水対策に努めます。

表 3.4.1 河川整備計画において基準となる流量

河川名		目標流量	地点名	備考
大臣 管理 区間	大淀川 下流	大淀川	柏田	概ね 1/50(柏田地点にて昭和 57 年 8 月洪水のピーク流量に相当する規模)
			高岡	
		八重川	大淀川合流点	
		本庄川	嵐田	
		深年川	本庄川合流点	
	大淀川 上流	大淀川	岳下	概ね 1/30(岳下地点にて平成 9 年 9 月洪水のピーク流量に相当する規模)
			樋渡	
		高崎川	大淀川合流点	
		庄内川	大淀川合流点	
		沖水川	大淀川合流点	
宮崎 県知 事管 理区 間	小松川	大淀川合流点	概ね 1/50	
	山内川	八重川合流点	概ね 1/30	
	大谷川	大淀川合流点	概ね 1/40	
	深年川	直轄上流端	概ね 1/30	
	瓜田川	大淀川合流点	概ね 1/50	
	麓川	瓜田川合流点	概ね 1/10	
	岩瀬川	大淀川合流点	概ね 1/50	
	東岳川	大淀川合流点	概ね 1/30	
	山田川	丸谷川合流点	概ね 1/10	
	花の木川	富吉川合流点	概ね 1/50	
	横市川	げんの源野橋	概ね 1/30	

※宮崎県知事管理区間については、県内指標による整備水準規模

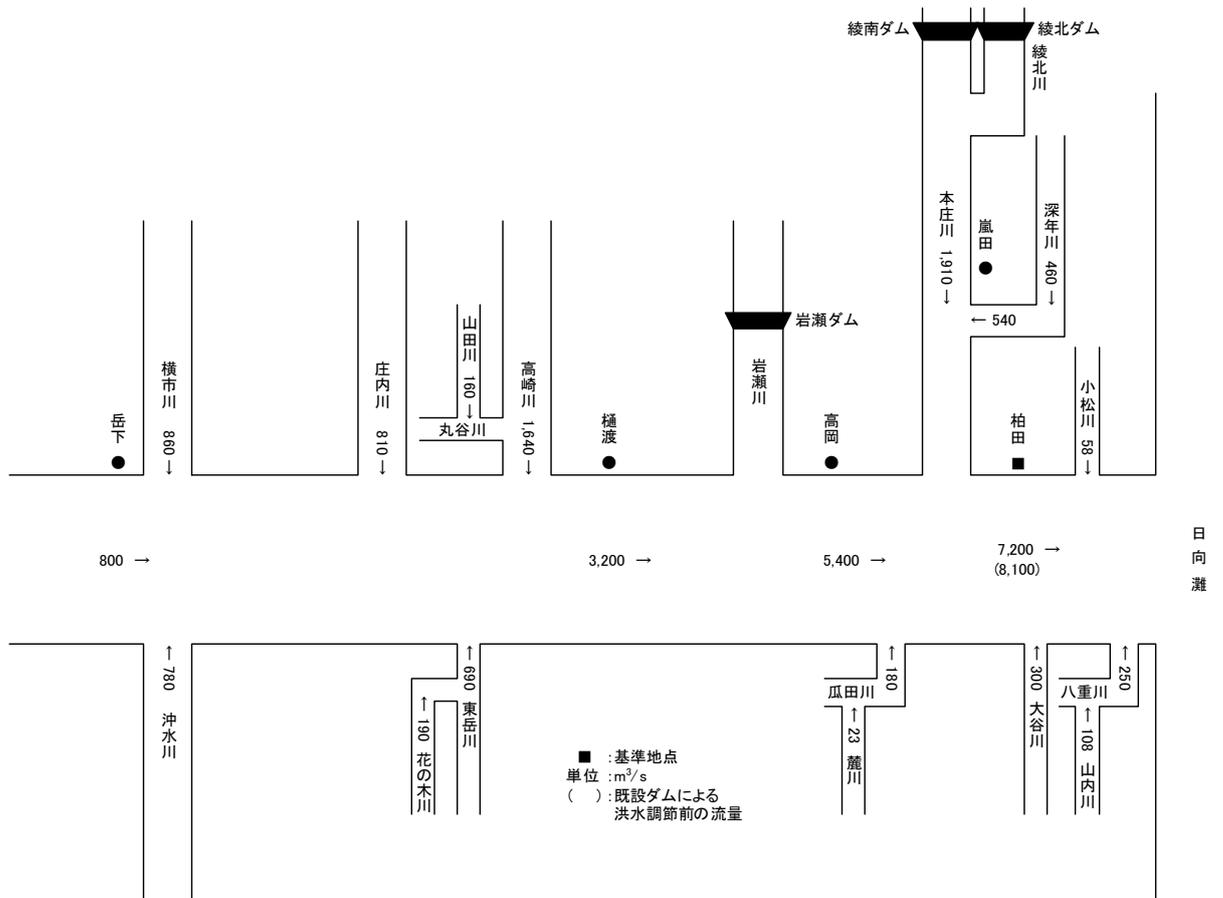


図 3.4.1 河道整備流量配分図

### 3.4.2 地震・津波対策

発生が危惧される東南海・南海地震等の大規模地震により基礎地盤の液状化が発生し、堤防等の河川構造物が破壊した場合に平常時の水位による浸水等の二次被害、及び津波による被害の防止・軽減を図ります。